

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

使命と目指す姿

"はたらく"に歓びを。"はたらく"に寄り添い変革を起こし続けることで、人ならではの創造力の発揮を支え、持続可能な未来の社会をつくる。

社会課題解決売上
10,170億円

地域社会発展売上
320億円

環境配慮型売上
4,280億円

目標ROE
10%超

② 中長期の経営戦略

1. 地域戦略強化

プロセスオートメーション、ワークプレイスエクスペリエンス、ITサービスの3領域に資源集中。サービス分野のストック収益を積み上げる。

3. 本社改革

R&D投資をワークプレイス領域にフォーカス。デジタルサービス型の経営体制ヘシフト。顧客接点での価値創造を強化。

2. 現場・社会領域展開

商用印刷事業を中心に「現場・社会」領域での収益の柱を構築。事業ポートフォリオマネジメントで戦略的に事業を選別。

4. オフィスプリ改革

市場縮小認識のもと売上減少時の収益確保へ。東芝テック、OKIとの合併で開発・生産効率化、SCM最適化を推進。

③ 対処すべき課題

① 収益構造の抜本変革

- ・ 低PBRの最大要因は収益性の低さ。デジタルサービス会社として成長実現には各事業に適合した収益構造が必須。
- ・ 事業の選択と集中を加速。ワークプレイス領域にリソース戦略配分。出口プロセス事業の出口戦略検討・実行。
- ・ ROIC向上を継続。ROIC 3.2%の現状から資本コスト上回る収益性を追求し、ROE10%超実現を目指す。

② グローバル経営環境への対応

- ・ インフレの継続、為替変動、経済摩擦増加で不透明性が続く。
- ・ 生産・商物流・商品投入・価格政策・販売チャネルで機動的に対策を実行し影響を軽減する必要がある。
- ・ グローバル人材の活躍が事業構造変化と提供価値拡大の鍵。人的資本戦略で社員の能力・スキルに積極投資。

③ ESG経営の推進

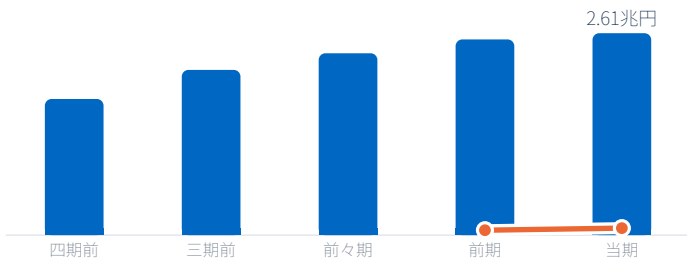
- ・ ESGグローバルトップ企業を目指し、7つのマテリアリティ、16のESG目標に取り組む。
- ・ 事業を通じた社会課題解決と経営基盤強化でESGと事業成長の同軸化を加速。
- ・ 人権対応強化、デジタル人材確保、デジタル特許強化に注力しながら持続可能な社会実現に貢献。

面接で使えるポイント

- ・ 三愛精神（人を愛し国を愛し勤めを愛す）を変わらない価値観として、デジタルサービス会社への変革に取り組む姿勢。
- ・ プロセスオートメーション、ワークプレイスエクスペリエンス、ITサービスの3領域で働く人の創造力を支援する事業戦略。
- ・ 2025年度に社会課題解決事業で10,170億円、環境配慮型事業で4,280億円の売上を目指す中期経営戦略。

証券コード 7752

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2.61兆円営業利益率
3.5%財務健康度
29点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 64.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
906万円

電気機器内 31位/225社

平均年齢
45.4歳

電気機器内 51位/225社

平均勤続
20.0年

電気機器内 29位/225社

女性管理職
10.0%

電気機器内 36位/182社

男性育休
93.3%

電気機器内 54位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: リコー、「RICOH Innovation Fund」を通じ

